

**No.80 2020年4月号**  
 倉敷医療生活協同組合  
**コープリハビリテーション病院**  
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60  
**TEL 086-444-3212**  
 老人保健施設 **老健あかね**  
**TEL 086-446-6541**



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



(図1) コープリハ・あかねの会場風景

【はじめに】  
 2月19日、医科歯科合同学習会を開催しました(図1)。倉敷医療生協の歯科グループはすでに西日本一の規模を確立していますが、今後は在宅高齢障害者の口腔機能管理という要求にも応えなければなりません。もとよりコープリハ・あかねはリハビリを主軸に回復期の摂食・嚥下障害に取り組んでいます。いまここに2つの事業戦略が一致しました。

## なぜ入院患者を歯科が診るのか ～歯科と医科とがコラボするということ～

コープリハビリテーション病院 院長 鍛本 真一郎

(図2) 別々に演奏するジョイント(左より、聴きたい一曲をチームで奏でるコラボ(右)の方がリハビリをよく表しています。歯科との連携もこうありたいです。



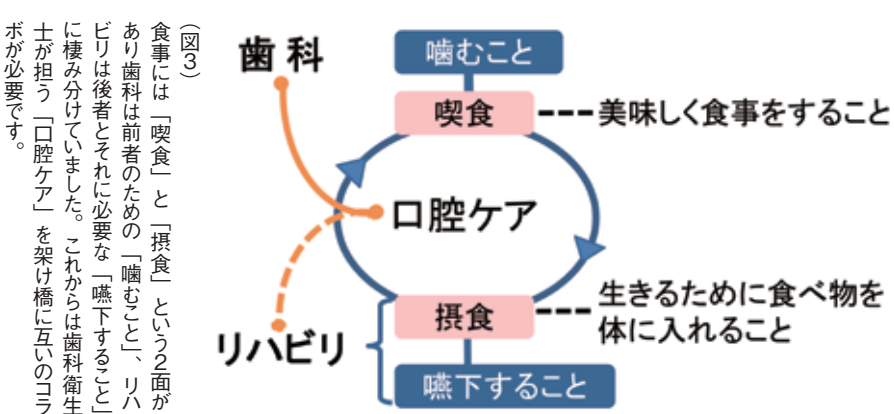
(写真④) 山崎先生 (写真③) 中村先生 (写真②) 上田先生 (写真①) 小嶋先生



(写真⑦) 政木歯科衛生士 (写真⑥) 北村医局長 (写真⑤) 仲村先生

【歯科の考え】  
 筆者から入院リハビリの概略と歯科とのチームワーク「コラボ」(図2)の提案をしたあと、歯科と医科職員との意見交換にはいりました。その内容を紹介します。まず、前歯科部長の小嶋先生(写真1)から、経営戦略がわかり方向性が明確ですばらしい、と講評。一方、医科歯科連携で何をしたらいいのかまだわからない、とは上田先生(写真2)。それに対し、コープリハ・あかね担当の中村先生(写真3)から、入れ歯やインプラント以外に歯科医が嚥下に関わるのはまだ始まったばかり、と説明。山崎先生(写真4)は、医科が歯科に求めるものと歯科が思う役割に差があり打合せはコラボのために必要との

意見。口腔環境改善が全身状態を良くした事例を経験しないと単なるジョイント歯科をコラボ歯科に高めるのは難しいと仲村先生(写真5)。一方、外科手術前後の歯科コラボは週1回行っていると北村医局長(写真6)。別の立場で政木歯科衛生士(写真7)は、同じゴールに向けて医科歯科コラボができたらいけど、今はジョイントからお願ひします、と。最後に水島歯科診療所十数名の歯科医をはじめ総勢80名の職員を束ねる辻所長(写真8)が、コープリハの戦略は分かった。そこを前進基地に未開の在宅分野に漕ぎ出したいと、述べられました。



(図3) 食事には「喫食」と「摂食」という2面があり、歯科は前者のための「噛むこと」、リハビリは後者とそれに必要な「嚥下すること」に棲み分けていました。これからは歯科衛生士が担う「口腔ケア」を架け橋に互いのコラボが必要とされます。

【まとめ】  
 「歯科と医科はみているものが違う」とゲスト参加の倉敷救急科・田村先生も指摘したように現状ではジョイントです。しかし、それで患者さんが自然に元気になるほど甘くはありません。まずは「噛むこと」から入る歯科と「摂食・嚥下」を治すリハビリが共有できる成果を「口腔ケア」という切り口から探るのが最初のアクションです(図3)。最後に、書き切れないほど建設的意見をいただいた歯科技師、歯科衛生士の皆様、そして今回のセッティングや今後の課題整理をしてくださった水島歯科事務所の皆様に感謝します。



(写真⑧) 辻所長

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

新任職責者紹介

事務部は、事務課と医療福祉相談・連携室と2つの部署があります。多くの機能を併せ持つ事業所の事務課はまさしく屋台骨としての役割と、また、訪れる利用者として初めて対面する建物の顔としての役割もあります。これまでの医療ソーシャルワーカーとして培った経験を生かしながら事務部次長として職員と力を合わせ努力していく所存です。



田辺事務部次長

1月より、コープリハビリテーション病院・老健あかね事務部次長及び、医療福祉相談・連携室室長を兼務で務めることとなりました。私は、倉敷医療生協水島歯科診療所の事務職として9年勤務し、1995年の老健あかね開設準備に伴い異動となり、医療ソーシャルワーカーとして25年間仕事をしてきました。法人を越えて本場に多くの方々を支えていただきました。改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

何分未熟者ではありますがご指導ご鞭撻いただきますようよろしく願います。コープリハビリテーション病院・老健あかね 事務部次長 田辺 紀子



岩本副主任

4月よりリハビリテーション科の副主任を務めることになりました。私は倉敷医療生協に入職8年目となり、玉島協同病院と水島協同病院を経て、2014年より当院の回復期病棟に異動になりました。それまでは患者さんの退院後の生活を深く考えずに、身体的な面ばかりに目がいき、一人よがりの関わりだったように思います。異動してからは、基本理念にある「人が人を見る仕事に価値を生む技術集団」という事を大切に、患者さん一人一人の退院後の暮らしも考えて仕事に向かえるようになったと思います。



お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 平日9:00~16:30
土曜日9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ: http://coopreha.jp/
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表
コープリハビリテーション病院
外来受付時間 8:30~12:00
[086-444-3212]
老健あかね [086-446-6541]
Table with columns for Outpatient, Equipment Outpatient, Dentistry, Short-term Rehabilitation, Short-term Intensive Rehabilitation, and Home Rehabilitation. Rows list days of the week and staff names.

医療福祉相談・連携室
相談受付時間
平日 9:00~12:00 13:30~16:30
土曜日 9:00~12:00
日・祝日 休み

「食べる」「話す」

「話す」「食べる」を支援します

老健あかね訪問リハに言語聴覚士増員

4月より言語聴覚士が自宅へ訪問します。ご家族が食事中にムせており、この食事で本場に合っているのかという不安があるかもしれません。言語聴覚士による嚥下機能の評価と安全な食事形態の提案で食事中心の不安が解消できます。また、脳卒中や難病の後に、すぐ忘れる、集中力の低下、話しにくさ、場所が分からないうなど、高次脳機能障害を疑うような症状

2020年4月~ 訪問リハビリテーションに「老健あかね」言語聴覚士が配置されます!
このように困り事はありませんか?
対象となる方
ご利用の流れ

対象となる方
注意
ご利用料金
介護保険利用(要介護1~5)
訪問リハビリテーション費
主な追加費

家族との関わり方をもう一度見直して、暮らし向きを楽に出来る方法を共に考える事ができます。
日常生活の中で食事や会話など気になる点がある方はぜひご利用下さい。連絡をお待ちしております。
老健あかね
訪問リハビリテーション
責任者 青木 麻紀
言語聴覚士 中村 賢吾



園児が作ったお雛様



水島駅での出発式 (2/22)

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。